科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
臨床免疫学	1年次	必修	講義	１単位（30時間）	金子　博司　※

授　業　概　要

免疫学の発展と現代免疫学に至るまでの基礎知識を学び、生体防御機構としての免疫学の意義を理解する。免疫学及び各種免疫の概要、輸血・移植免疫などについて理解する。

到　達　目　標

１）免疫応答の機序を説明できる。
２）生体防御機構を説明できる。
３）腫瘍免疫・移植免疫を説明できる。

実務経験のある教員

金子　博司：病院での臨床経験を踏まえ、生体の免疫について解説する。

回	学　習　内　容		担当教員
1	免疫学概要	現在までの免疫学の発展	医療検査学科教員
2	生体内免疫系	細胞及び組織	〃
3	免疫担当細胞(1)	体液性免疫	〃
4	免疫担当細胞(2)	細胞性免疫	〃
5	免疫担当細胞(3)	自然免疫と獲得免疫	〃
6	免疫担当細胞(4)	抗原提示細胞	〃
7	免疫担当細胞(5)	Ｔリンパ球、Ｂリンパ球	〃
8	抗原	抗原の定義、抗原の構造、抗原の種類	〃
9	抗体(1)	抗体の定義、抗体の分類	〃
10	抗体(2)	抗体の構造、抗体の機能と生物活性	〃
11	疾患(1)	免疫不全症、自己免疫疾患	〃
12	疾患(2)	アレルギー	〃
13	輸血	血液型、ＨＬＡ	〃
14	移植免疫(1)	ドナーとレシピエント、拒絶反応、免疫抑制剤	〃
15	移植免疫(2)	臓器移植、造血幹細胞移植	〃

学　習　方　法

病態学の基礎となる部分である。教科書及び配布資料の復習をし、しっかりと理解すること。

評　価　方　法

学科試験により評価する。

先　修　科　目

教科書、参考書

〔教科書〕
臨床工学技士標準テキスト 第4版　　小野哲章　他　　金原出版
配布資料